

中小企業景気動向調査

(2026年1～3月調査)

vol.191

(2026年4月15日発行)

目次

- 全業種業況概要(業況～設備の状況) 1
- 業種別業況の推移 4
 - 製造業/卸売業/小売業 4
 - 建設業/サービス業/不動産業 5
- 特別調査「中小企業経営者のライフデザイン」 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象にWebアンケートを実施しご回答いただいたものです。

●調査時点

2026年3月初旬

●調査対象時期

2026年1月～3月実績及び
2026年4月～6月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	49	32.9	30	61.2
卸売業	13	8.7	8	61.5
小売業	25	16.8	17	68.0
建設業	24	16.1	18	75.0
サービス業	25	16.8	13	52.0
不動産業	13	8.7	7	53.8
合計	149	100.0	93	62.4

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)
B=ややA
C=普通(変わらず・適正) $D.I = A \cdot B - D \cdot E$
D=ややE
E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益ともに悪化

金沢信用金庫が行った中小企業93社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内149社・回答率62.4%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は▲14.0(前期6.1)と▲20.1%悪化。

業種別では、建設業が▲5.6(前期53.8)と▲59.4%、製造業が▲33.3(前期▲12.5)と▲20.8%、不動産業が▲14.3(前期0.0)と▲

14.3%、卸売業が0.0(前期14.3)と▲14.3%、サービス業が0.0(前期8.3)と▲8.3%、小売業が▲5.9(前期0.0)と▲5.9%悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは▲3.2と10.8%改善すると予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは▲25.0(前期19.5)と▲44.5%悪化し、収益判断DIも▲19.8(前期16.0)と▲35.8%悪化した。来期予想では、売上額判断DIが15.1と40.1%、収益判断DIも10.8と30.6%改善すると予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「人手不足」(全回答中37.6%)で、以下、「売上の停滞・減少」(全回答中34.4%)、「人件費の増加」(全回答中34.4%)であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「人材を確保する」(全回答中36.6%)で、以下、「経費を節減する」(全回答中35.5%)、「販路を広げる」(全回答中25.8%)という結果となった。

(注)2025年10～12月を前期、2026年1～3月を今期、2026年4～6月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	時期	2024年(令和6年)			2025年(令和7年)			2026年(令和8年)	見通し
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	2026年(令和8年)
総合		☁️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業		☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☁️	☔️	☁️
卸売業		☁️	☁️	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️
小売業		☔️	☔️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️
建設業		☀️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
サービス業		☁️	☁️	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️
不動産業		☁️	☁️	☁️	☔️	☀️	☀️	☁️	☁️

全業種

	2024年(令和6年)			2025年(令和7年)			2026年(令和8年)	見通し 2026年(令和8年)	
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月
業況	▲6.6	▲11.3	7.5	▲16.7	0.0	0.0	6.1	▲14.0	▲3.2
売上額	12.7	▲11.3	27.4	▲17.8	8.0	11.5	19.5	▲25.0	15.1
受注残	▲3.1	▲22.0	15.1	▲17.0	4.2	15.9	11.1	▲22.9	4.2
収益	5.2	▲13.4	15.1	▲24.7	▲11.2	▲3.5	16.0	▲19.8	10.8
販売価格	20.3	16.7	26.2	14.4	15.7	23.0	15.2	9.7	18.3
原材料価格	56.6	50.5	49.5	53.9	42.0	46.5	46.9	43.0	51.6
在庫	1.8	6.2	▲1.1	8.5	1.3	4.2	11.6	▲7.5	▲2.5
資金繰り	▲2.9	▲10.4	▲4.7	▲14.4	▲6.7	▲8.0	▲2.5	▲19.4	▲6.5
雇用(人手)	▲30.4	▲39.6	▲38.3	▲28.9	▲40.4	▲37.9	▲36.6	▲39.8	▲45.2
設備状況	▲15.9	▲17.8	▲17.2	▲20.0	▲14.6	▲14.6	▲11.8	▲11.6	▲15.1

設備投資動向

設備投資は、不動産を除いた86社の動向です。

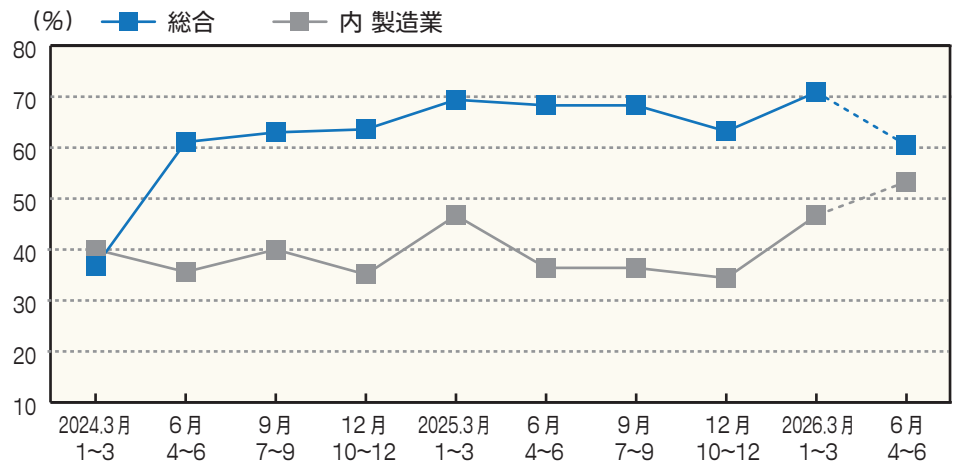
● 1~3月の設備投資実施状況

		有	無
		総合	数 61
	%	70.9	29.1
(内 製造業)	数	14	16
	%	46.7	53.3

(来期見通し)

		有	無
		総合	数 52
	%	60.5	39.5
(内 製造業)	数	16	14
	%	53.3	46.7

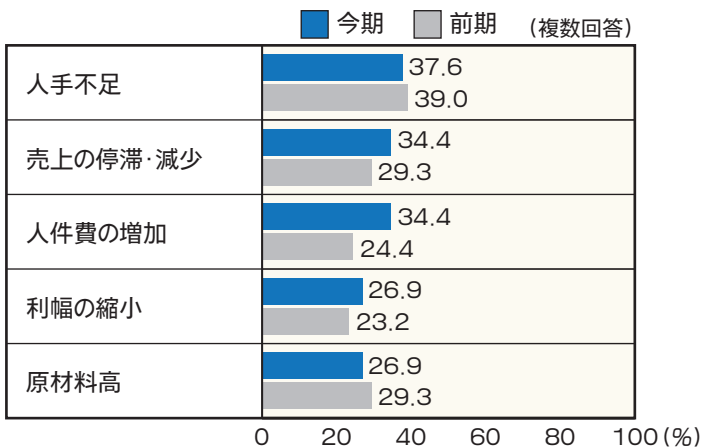
● 設備投資実施(予定)割合



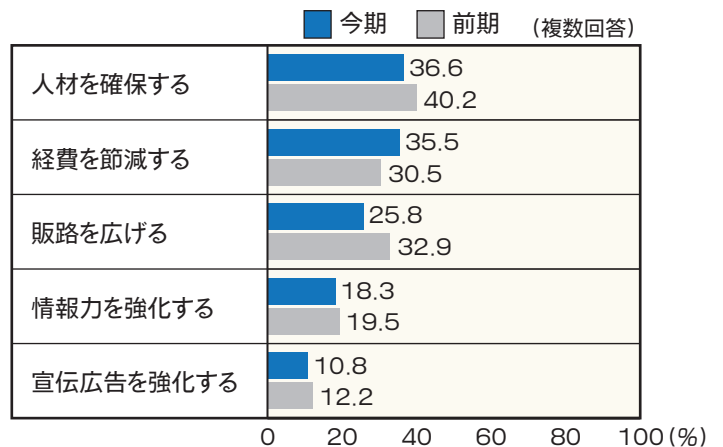
● 1~3月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		総合	%	4.7	7.0	32.6	12.8
(内 製造業)	%	3.3	16.7	30.0	13.3	10.0	0.0

経営上の問題点



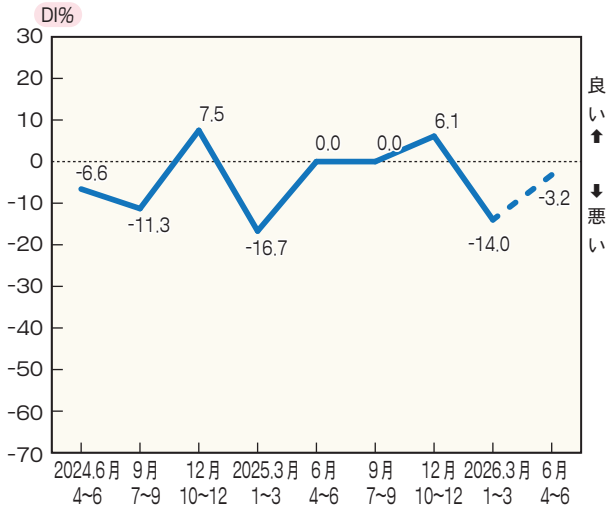
重点経営施策



全業種

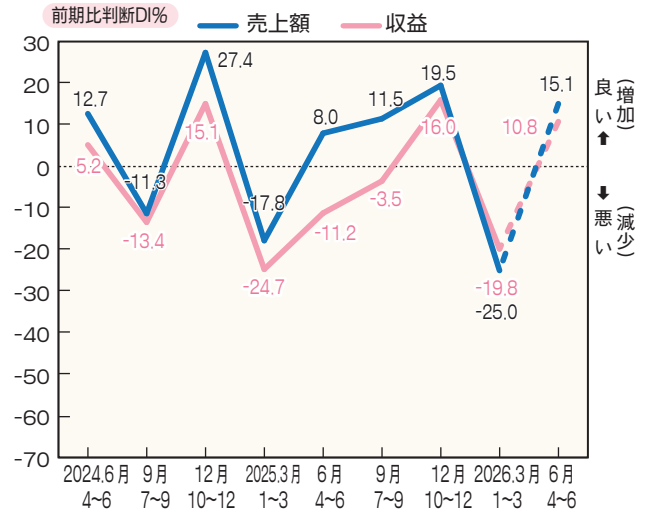
業況

前期から▲20.1ポイント悪化、
来期は改善すると予想



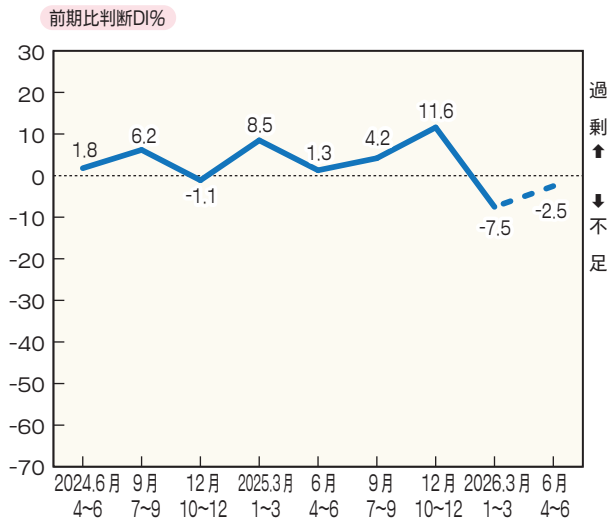
売上額・収益

売上額・収益ともに悪化、
来期はともに改善すると予想



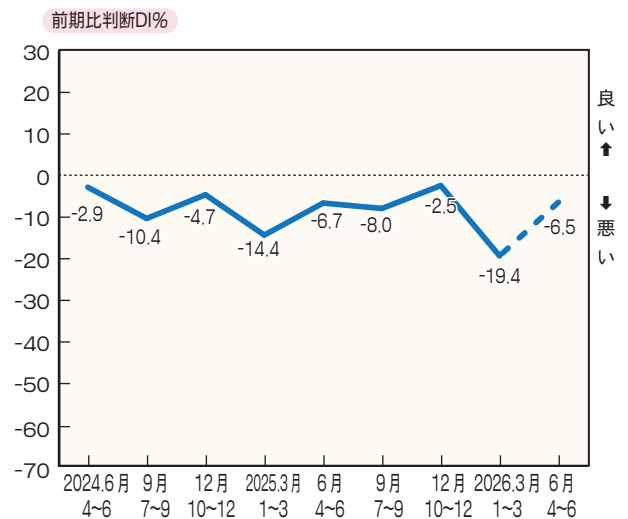
在庫

今期▲7.5 (前期11.6)と
在庫不足に転じる



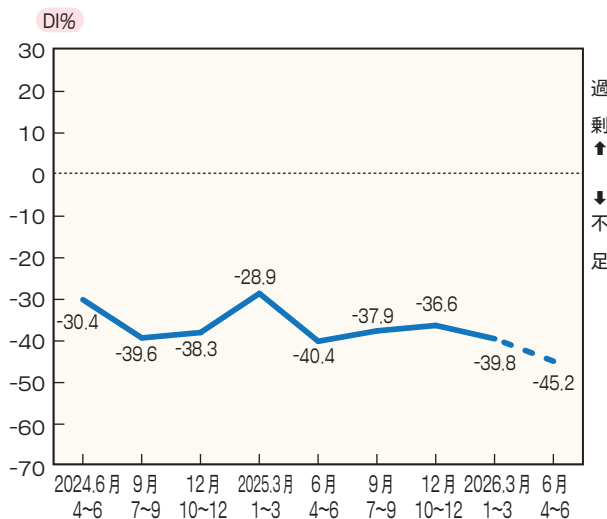
資金繰り

今期▲19.4 (前期▲2.5)と
悪化



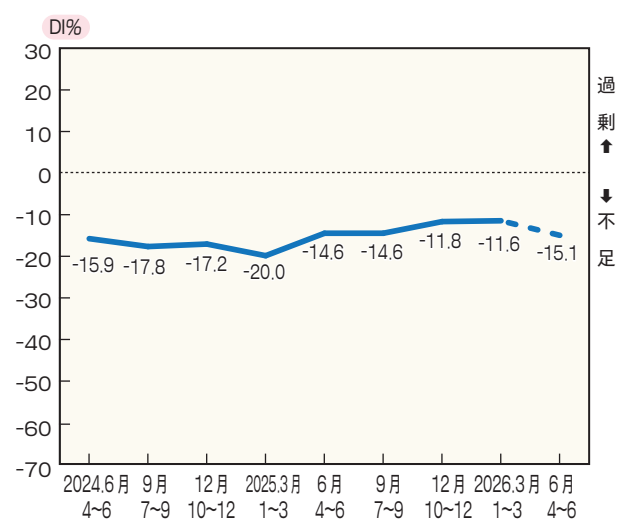
雇用

今期▲39.8 (前期▲36.6)と
悪化



設備の状況

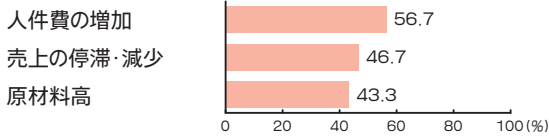
今期▲11.6 (前期▲11.8)と
▲10.0以下を維持



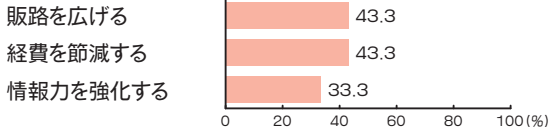
製造業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



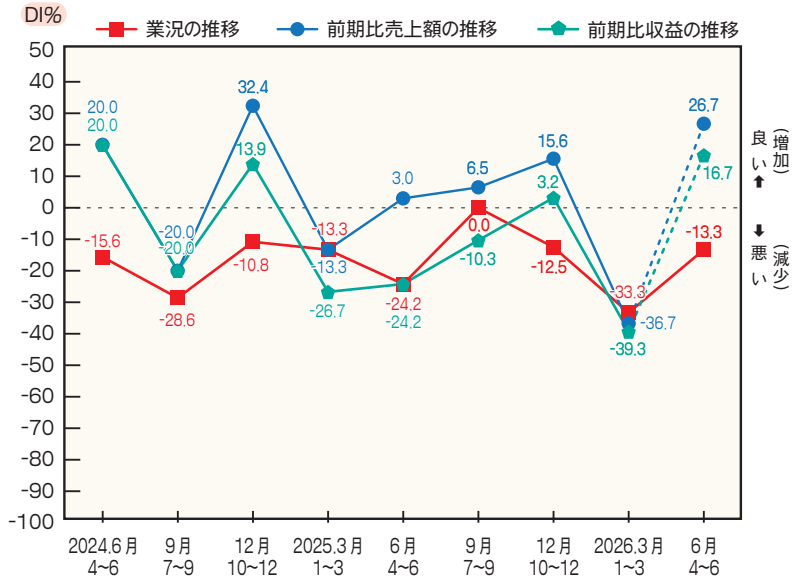
◆ 昨年同時期 (2025年1~3月) に比した動き

売上額	0.0
収益	△13.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	30.0%
借入の予定	20.0%

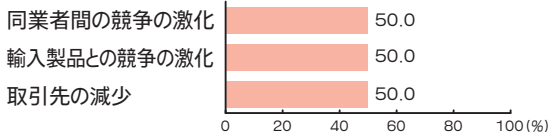
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



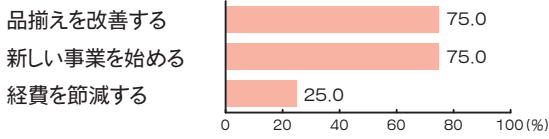
卸売業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



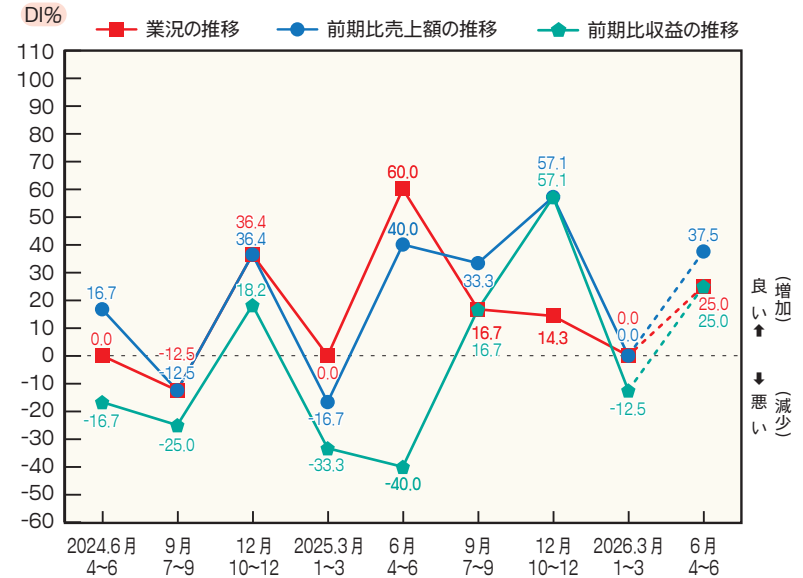
◆ 昨年同時期 (2025年1~3月) に比した動き

売上額	12.5
収益	12.5
販売価格	50.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	25.0%
借入の予定	25.0%

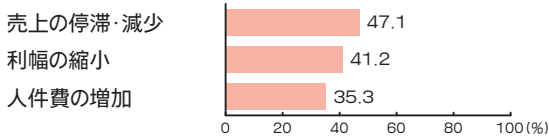
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



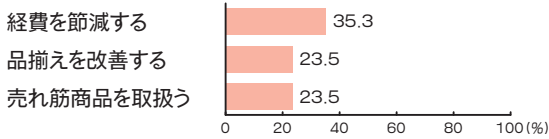
小売業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



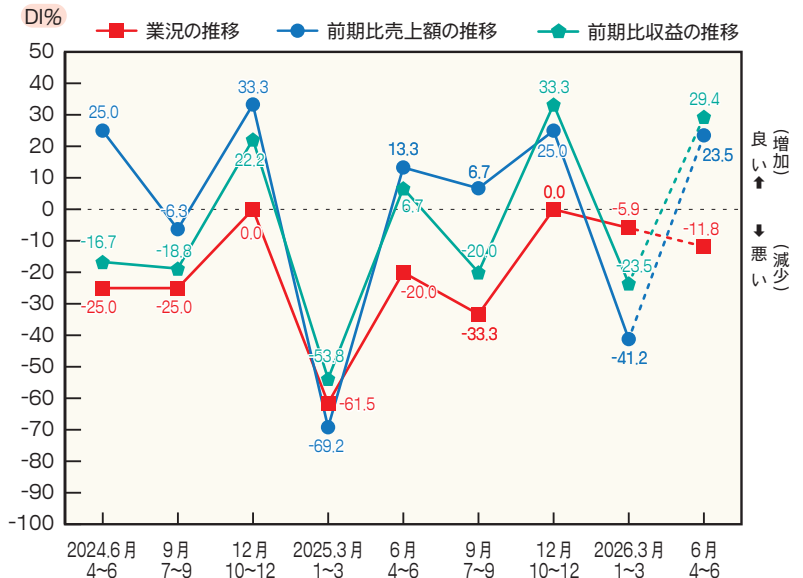
◆ 昨年同時期 (2025年1~3月) に比した動き

売上額	0.0
収益	△11.8
販売価格	17.6

◆ 借入金の動き

借入の実施	23.5%
借入の予定	11.8%

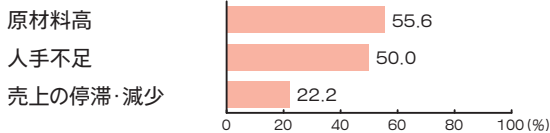
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



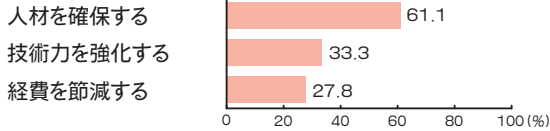
建設業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



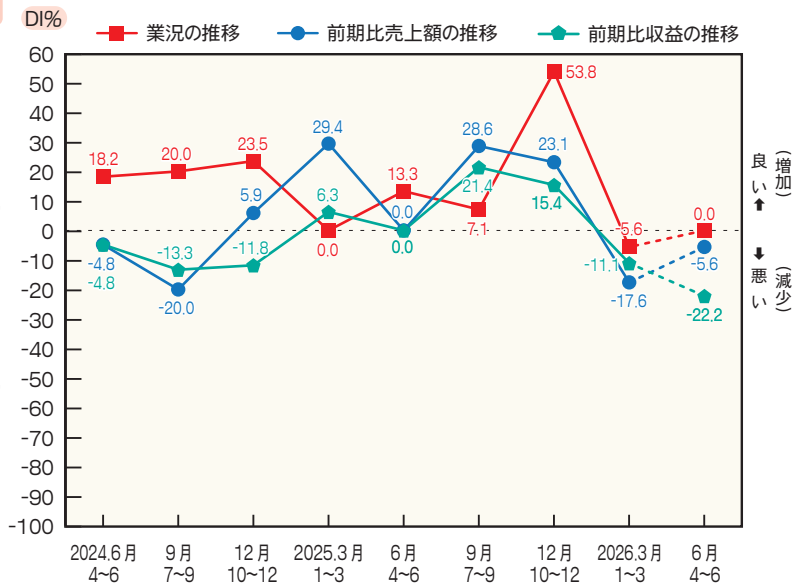
◆ 昨年同時期(2025年1~3月)に比した動き

売上額	11.1
収益	5.6

◆ 借入金の動き

借入の実施	33.3%
借入の予定	27.8%

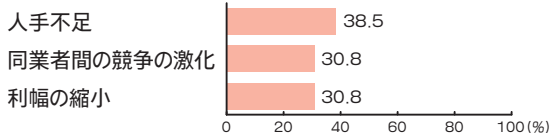
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



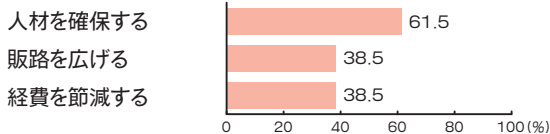
サービス業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



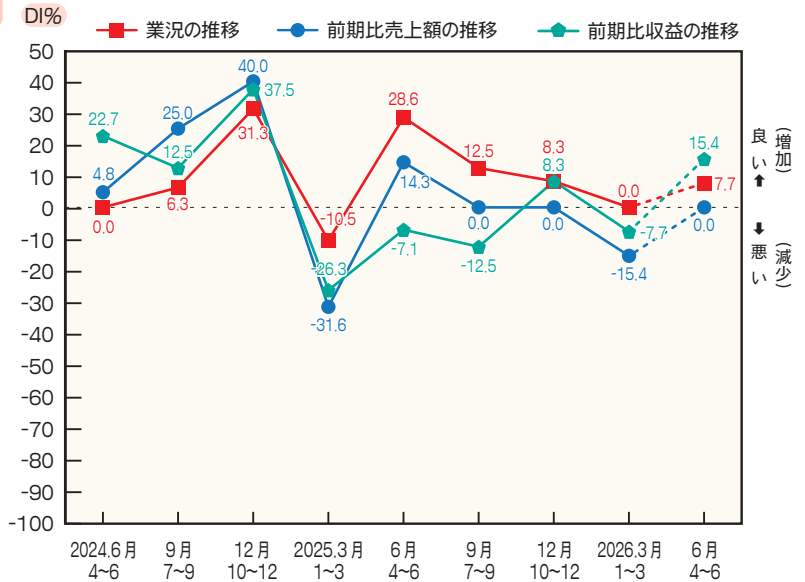
◆ 昨年同時期(2025年1~3月)に比した動き

売上額	0.0
収益	△7.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	30.8%
借入の予定	30.8%

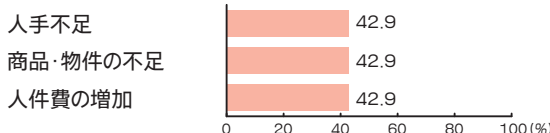
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



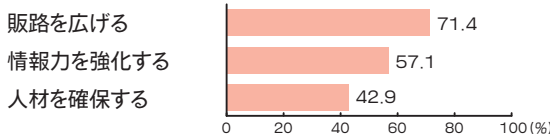
不動産業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



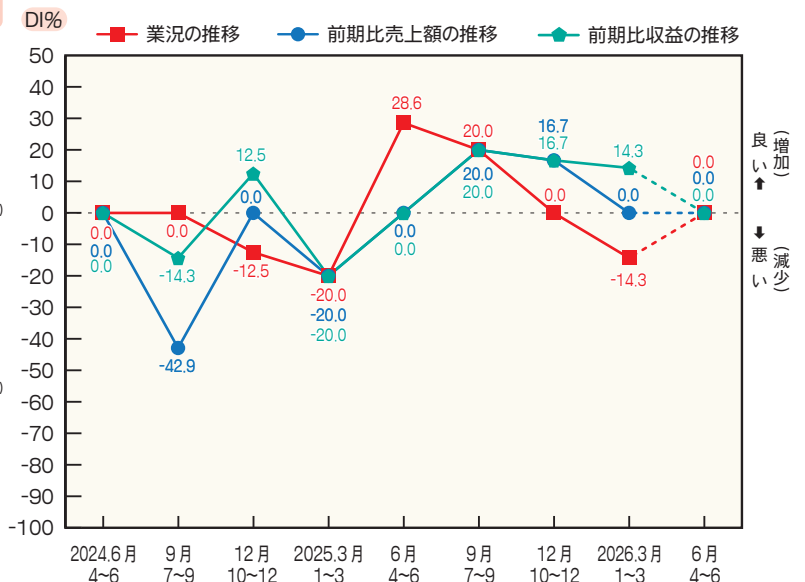
◆ 昨年同時期(2025年1~3月)に比した動き

売上額	14.3
収益	14.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	28.6%
借入の予定	42.9%

◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



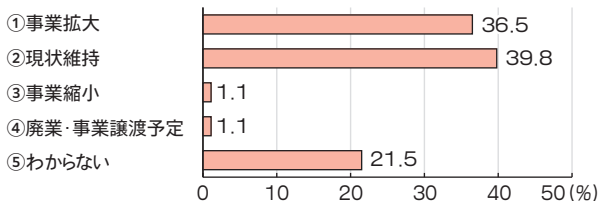


中小企業経営者のライフデザイン

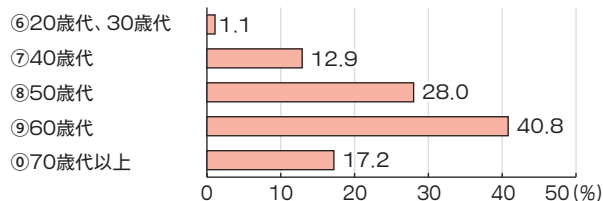
93社に調査し回答をいただいたものです。

1 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。①～⑤の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の⑥～⑩の中から1つ選んでお答えください。

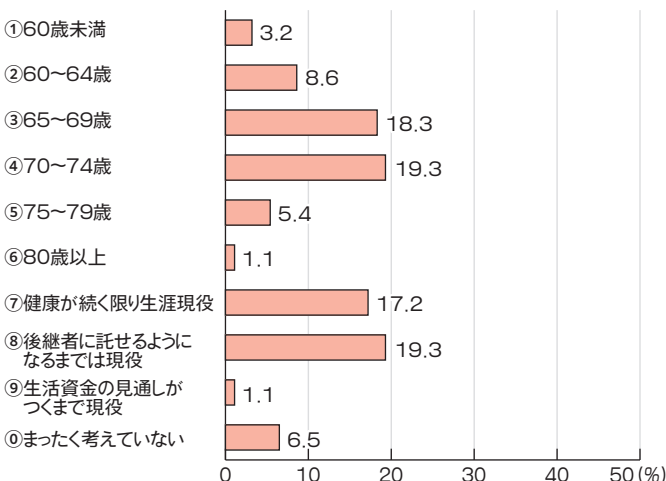
10年先の自社の経営展望



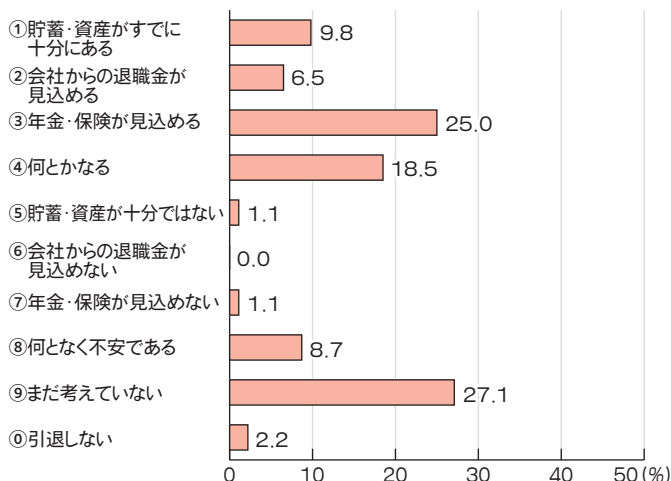
社長（代表者）の年齢階層



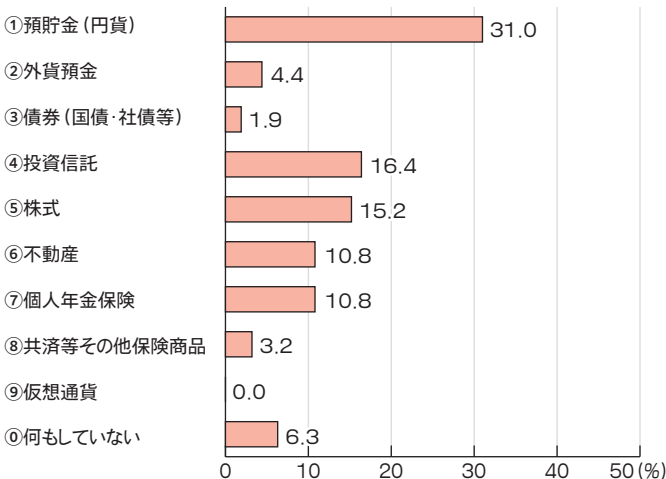
2 社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は①～⑥の中から、そうでない方は⑦～⑩の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



3 社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



4 社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をいらっしゃいますか。下記の①～⑩の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。



5 貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げ実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について①から④の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由について⑤から⑩の中から1つ選んでお答えください。

